

「第2次下関市立図書館基本計画（案）」に係るパブリックコメントの意見結果

1. 実施期間：令和4年9月27日（火）～令和4年10月26日（水）

2. 意見応募状況：提出者：2名 件数：4件

番号	該当箇所	意見要旨	意見に対する教育委員会の考え
1	第2章	北部図書館の場所が明らかではないが、下関市のコンパクトシティに位置付けられた新下関駅周辺に立地することによって整合性が計られると考える。	北部図書館(仮称)は令和7年1月旧園芸センター跡地に開館することが決定しておりますので、北部図書館(仮称)の場所について誤解を与えないよう分かりやすい表現に修正いたしました。
2	第5章	蔵書の確保のため、市民からの贈書を積極的に求める活動を行うべきと考える。 子供のゲームやスマホとの強い結び付きをいかに読書に向かわせるか。学校教育を含め根本的な施策が必要である。	市民の皆様からの図書の寄贈は、資料の内容や図書館の所蔵状況によってはご希望に添えない場合もありますので、趣旨の周知も含めて方法を検討いたします。子供の読書については、P.29 第5章第2節 取組の方向性(1)親子で本を楽しむきっかけづくり、(2)学校等との連携による読書活動の推進や(3)子どもと本の橋渡しにより努めてまいります。
3	第6章	市内には読書に関するNPO法人や市民団体が活動しており、彼らと連携あるいは有効活用に積極的に取り組むべきである。	NPO法人や市民団体との連携については、P.29 第5章第2節 取組の方向性(3)子供の本との出会いの橋渡しやP.30 第3節 取組の方向性(3)「個人」の熱意を「集団」のエネルギーに変える「動」の図書館により情報交換や協働に努めてまいります。
4	第6章	豊北図書館について、新しいモデルとあるが、豊田・豊浦と違いすぎる。豊北図書館は中学校と一緒にあるが、山の上なので歩いて行かれる場所ではない。車が必ず必要。これからもっと年配者が増える場所で歩いて行けない所はいかがなものかと思えます。	豊北図書館は平成18年に学校図書館の一般開放という形の新しい複合化施設として現在の場所に整備されました。徒歩でのアクセスに課題があることは承知しておりますが、有効な解決策を見いだせておりませんので、引き続き研究してまいります。